

火の魂の仲間たち、いつも本当にありがとう。

4月も終わり社会人になった人は初めてのお給料を手にした頃だと思います。当たり前ですが社会人となり初めて頂くお給料は一生に一度しかない貴重な日でもあります。社会に出るまでに多くの人たちの支えがあり学生から社会人に成長してきたのだと思います。今までいつも誰かの支えがあったから社会人になれたことをしっかりと思い返して、お世話になった人に「ありがとうございます」の一言を伝えて欲しいです。

私も子を持つ親として、子供たちに「ありがとう」を言われるために、頑張っているわけではありませんが、社会人になる節目で子供たちから「ありがとう」と伝えられたら、今まで必死に働いてきて大変な思いも全て良い思い出に変わると思います。是非、社会人になった人は身近なお世話になった人に「ありがとうございます」を伝えて頂きたいと思います。

※できれば初任給で両親にプレゼントなんてのは一生の思い出になりますよ。

さて、今月も社長からの手紙を綴っていきたいと思います。

今回、はじめて社長からの手紙を読む人も多いと思うので、この手紙を書き出した当初の私の気持ちを書いていきたいと思います。

この手紙を書き出したのは、今から3年前の2015年の春だったと思います。店舗数も増え始め火の魂カンパニーで働く人たちとの距離を感じてきた頃です。私は火の魂カンパニーで働いてくれる皆さんに、仕事としてお金を稼ぐだけでなく、仕事を通して働く人、そして自分の身近な人を幸せに出来る力を身につけてほしいと思っています。人生の幸福は80%が身近な人との人間関係が決めると言われてるし、私も43才になり改めて「そうだな」と実感している。私が思う仕事とは、仕事を通し人間性を高め、世の中や人に貢献できる立派な社会人になり、身近にいる大切な人と豊かな人生を送ることであると思います。

仕事を通して学ぶことは、主体的に行動すること、他人を思いやる気持ち、素直な心や前向きに生きること、感謝の気持ちを大切にし、身近な大切な人を大切にすることだと思ったり、そんな人間性を高める場所が火の魂カンパニーでありたいと思っています。丁度、3年前の春先に私の手紙が誰かの人生に役に立つ時が来れば嬉しいと思ったし、何年かかってもいいから、「理想の会社を絶対に創るんだ!」と決意を胸に書き始めたのを今でも覚えています。